

平成29年10月23日

「日中韓 文化芸術教育フォーラム 2017」の開催

文化庁は、2017年の「東アジア文化都市」である京都市において、「日中韓文化芸術教育フォーラム2017」を以下のとおり開催します。

本フォーラムでは、「3国の国際共同制作の現場から」をテーマに三つのシンポジウムを行います。特に、第1セッションでは、日中韓の学生混成チームによる短編アニメーションを上映し、その後、ディスカッションを行います。

1. 日時・会場

平成29年11月3日（金・祝）開場13：30 開演14：00
京都美術工芸大学 KYOBI ホール（京都市東山区川端通七条上ル）

2. テーマ、モデレーター

テーマ：3国の国際共同制作の現場から～文化芸術交流の課題と将来～
第1セッション：日中韓学生アニメーション共同制作

（モデレーター）岡本 美津子（東京藝術大学大学院映像研究科教授）

第2セッション：フェルトシュテルケ・インターナショナル

（モデレーター）山本 麻友美（京都芸術センター・チーフプログラムディレクター）

第3セッション：京都市内芸術系大学による東アジア美術展

（モデレーター）建畠 哲（京都芸術センター館長、多摩美術大学学長）

3. 主催等

主催：文化庁

共催：京都市、東アジア文化都市2017京都実行委員会

4. 参加方法

入場無料。事前申込制（先着順）。参加申込は公式ホームページ（www.caef2017.jp）又は別添チラシの申込フォーム（FAX）による。詳細は、株式会社Jプロデュース内「日中韓文化芸術教育フォーラム2017」事務局 電話：06-4964-8872（平日：月～金10：00～17：00）へお問合せください。

※取材を御希望の方は、平成29年10月31日までに、上記事務局に直接お電話でお問合せください。
（電話：06-4964-8872）

＜担当＞文化庁長官官房国際課

課 長 奈良 哲（内線2845）

国際文化交流室長 秋山 麻里（内線3153）

国際文化交流室室長補佐 木南 秀隆（内線3166）

振 興 係 長 内 誠（内線3167）

電 話：03-5253-4111（代表）

京都の秋、芸術交流の秋

日中韓 文化芸術教育 フォーラム 2017

入場無料
(事前申込要)

photo by KIM Song Gi
撮影：金成基

11/3

(金・祝)

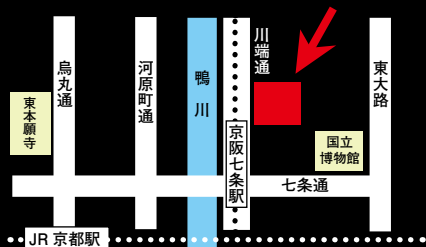
14:00 ▶ 17:30

13:30 開場

京都美術工芸大学
(京都東山キャンパス)
KYOBI ホール

京都市東山区川端通七条上ル

JR 京都駅から市バス約 7 分「七条京阪前」下車すぐ
京阪七条駅下車すぐ



テーマ

3 国の国際共同制作の現場から ～文化芸術交流の課題と将来～

日中韓の芸術系大学の学生による共同制作の取組事例を紹介しつつ、実際の現場の様子や成果物を通じて見える教育的効果、取組の今後の展望等について、共同制作参加者・学生・有識者をパネリストとして討論します。

第 1
セッション

日中韓学生
アニメーション
共同制作



プロデューサー /
東京藝術大学大学院映像研究科教授
岡本 美津子

岡本 美津子

1987 年 NHK 入局。2008 年東京藝術大学教授。2017 年同副学長（国際・ダイバーシティ推進担当）。主なプロデュース番組に、「デジタル・スタジオ J」2355J「0655J」テクネ〜映像の教室」。主なプロデュースイベントに「デジタルアートフェスティバル東京」（2003-2005）、「東京藝術大学ゲーム学科（仮展）」（2017）など。

第 2
セッション

フェルトシュテルケ・
インターナショナル



「東アジア文化都市 2017 京都」アジア回廊現代美術展
キュレーター / アシスタントディレクター
京都芸術センターチーフプログラムディレクター
山本 麻友美

山本 麻友美

奈良県生まれ。2000 年の京都芸術センター開館時より、アート・コーディネーター。その後、シニア・アートコーディネーター、プログラム・ディレクターを経て、2016 年よりチーフプログラム・ディレクター。アーティスト・イン・レジデンス事業、展覧会事業等の統括を行う。

第 3
セッション

京都市内
芸術系大学による
東アジア美術展



「東アジア文化都市 2017 京都」アジア回廊現代美術展
アーティスト・ディレクター
京都芸術センター館長、多摩美術大学学長
建畠 哲

建畠 哲

京都市生まれ。早稲田大学卒業、国立国際美術館館長、京都市立芸術大学学長を経て 2011 年～埼玉県立近代美術館館長、2016 年～多摩美術大学学長、2017 年～京都芸術センター館長。「ヴェネチア・ビエンナーレ」横濱トリエンナーレ 2001、「あいちトリエンナーレ 2010」など、多くの国際美術展を組織し、アジアの近現代美術の企画にも多数参画。

主催：文化庁

共催：京都市 東アジア文化都市 2017 京都実行委員会



申込書 F A X : 06-4964-8809

Email : caef2017@jproduce.co.jp

専用ホームページ (www.caef2017.jp) からもお申込できます

申し込み方法 下記に記入のうえ、FAXまたはメールにてお申し込みください



【日中韓文化芸術教育フォーラムとは?】

「日中韓文化芸術教育フォーラム」は、第5回日中韓文化大臣会合(2013年・韓国)において、日中韓3か国が、相互理解、コミュニケーション、子供の創造性の発達と国民の芸術体験の増進における文化芸術教育の重要性を確認し、文化大臣会合の主催国において開催することを合意した共同事業です。以降、各国における文化芸術教育の促進等を目的として、第1回及び第4回は韓国・ソウル、第2回は日本・横浜、第3回は中国・青島において、関連会合、イベント、ワークショップ等を開催しました。本年は、第9回日中韓文化大臣会合が日本で開催されたことに伴い、日本の東アジア文化都市である京都市において、第5回目となるフォーラムを開催します。

【プログラム】※日中韓同時通訳あり

11/3 (祝・金)	14:00～14:10	主催者挨拶
	14:10～15:10	第1セッション「日中韓学生アニメーション共同制作(Co-work)」 モデレーター プロデューサー／東京藝術大学大学院映像研究科教授 岡本 美津子氏 東京藝術大学・中国伝媒大学・韓国芸術総合学校の3校の日中韓学生混成チームによる短編アニメーション共同制作作品の上映やパネルディスカッションを行います。
	15:10～16:10	第2セッション「フェルトシュテルケ・インターナショナル」 モデレーター 京都芸術センターチーフプログラムディレクター 山本 麻友美氏 2014年、日本(京都)・ドイツ(エッセン)・フランス(マルセイユ)で行った共同制作事業である「フェルトシュテルケ・インターナショナル」を、今年は「東アジア文化都市2017京都」の公式プログラムとして実施しました。日中韓各国から学生を公募し、音楽・映像・絵画・写真・建築等、様々な専攻から集まった学生がチームごとにテーマを決めて、共同制作のためのワークショップやプレゼンテーションの様子を織り交ぜながら事業を紹介します。 ※「フェルトシュテルケ・インターナショナル」とは、芸術活動に携わる学生または卒業後間もない若手アーティストや企画者を対象とした文化交流と国際相互理解を目指したプロジェクトです。
	16:10～16:20	休憩
	16:20～17:20	第3セッション「京都市内芸術系大学による東アジア美術展」 モデレーター 京都芸術センター館長、多摩美術大学学長 建畠 哲氏 東アジア文化都市2017京都のコア期間において、京都市立芸術大学と京都造形芸術大学が大学ギャラリーで美術展示会を開催しました。今回、展示会の企画・運営に関する意見交換や展示会を振り返り、ディスカッションを行います。
	17:20～17:30	閉会挨拶

■ 募集人員 200名

※申込先着順で定員になり次第締め切らせていただきます。

■ 申込締切 2017年10月31日(火) 17時

※お申し込みいただいた方には、参加票をお送りいたします。当日は受付にて参加票が必要となりますので、必ずご持参ください。

■ 問合せ・申込先

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町2-1-25 JTBビル6階 株式会社Jプロデュース内「日中韓文化芸術教育フォーラム2017」事務局
TEL/06-4964-8872(平日/月～金 10:00～17:00)

FAX申込用紙 下記に記載の上、FAXにてお申し込みください。

フリガナ			参加人数
代表者氏名	(姓)	(名)	名
企業名/団体名 /大学名			部署名/学部
住 所	〒 ー マンション名() (号室)		
TEL			FAX
Email			

※ご記入いただきました個人情報につきましては、当フォーラムの運営管理の目的にのみ利用させていただきます。